



発行：公益財団法人国際労務管理財団（IPM）

東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング7F

http://www.ipm.or.jp/ TEL : 03-3354-4841(代) FAX : 03-3354-4847

ベトナムHA TINH省と「人材育成交流事業に係る連携協定」調印式を行いました！

TOPICS

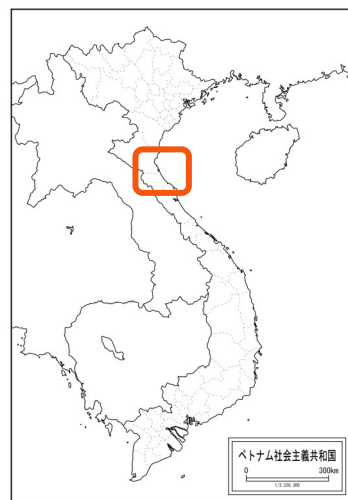
ページ

ベトナムHA TINH省と「人材育成交流事業に係る連携協定」調印式を行いました！	1
HANOI駐在事務所より ～ベトナムHANOIのグルメ4選～	2
第29回IPM作文コンクール結果発表！！～待機者の部を新設しました～	3
(株)北海道畜産公社 技能実習生の取り組みをご紹介します！	
担当職員から 札幌事務所より	4
編集後記	

2021年8月24日、ベトナム社会主義共和国HA TINH省及びIPMの二者間にて「人材育成交流事業に係る連携協定」の調印式をテレビ会議にて実施いたしました。

HA TINH省はベトナム中北部に位置しており、西はラオス、東はバク湾（ベトナムと中国海南島に囲まれた海）に面しています。

調印式では、冒頭代表者であるMr. Le Ngoc Chau-HA TINH省人民委員会副委員長より挨拶がありました。Mr. Le Ngoc Chauは、経済成長が著しいベトナムにおいてHA TINH省でも成長が続いていること、その中で日本企業からの投資・貿易を促進していくため、IPMからは青少年の人材に対する日本語のレベルアップや技能実習プログラムに参加する市民への支援などの要望が述べられました。



ベトナム HA TINH省



調印式の様子（HA TINH省側）



調印式の様子（IPM側）

続いてIPM側からは、池田英人理事長と太田雅雄常務理事が挨拶しました。池田理事長は、二者間の相互理解を一層深め、協力関係の強化を誓うとともに、技能実習生が返済に苦しみ高額手数料の問題が喫緊の課題であると述べました。

「人材育成交流事業に係る連携協定」の協力内容は次の通りです。

- A) HA TINH省と日本の架け橋になることを目標に、青少年のキャリア実現のために協力し、技能実習生、留学生そして技術者との交流の機会を増やす。
- B) HA TINH省内で来日を希望する技能実習生や技術者に対して日本語能力を強化するために、省内にある日本語教育機関と連携する。
- C) 技能実習生に於ける二国間協定に基づき、人材教育及び帰国後の就業をサポートする。
- D) 困難な状況に在る優秀な技能実習生を支援する。
- E) HA TINH省各郡の拠点校に設置した浄水装置を維持すると共に環境教育の充実に向けて協力する。
- F) 両国間の人材育成のため、交流会やイベント開催について相互協力する。

IPMでは、今後HANOI駐在事務所を通じて、HA TINH省と密に連携し人材育成に取り組んで参ります。

HANOI駐在事務所より～ベトナムHANOIのグルメ4選～



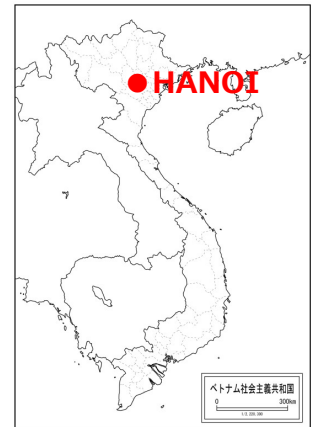
2020年12月に設立されたIPMのHANOI駐在事務所では、HA TINH省との調印式に代表されるベトナム各地との連携や、ベトナムの状況を日本に伝える役割を担っています。日本には、新型コロナウイルスや政治のようなニュースだけでなく、ベトナムの興味深い文化についても伝えています。そこで今回は、HANOI駐在事務所から皆さまに知ってほしいベトナムグルメを特集します！

今回紹介するのはベトナム人が首都HANOI市で必ず体験する食べ物です。ベトナム名物といえばフォーや春巻きですが、それだけではなく、HANOI市でしか体験できない4つの食べ物を紹介します。

① タニシ（田螺）BUN

（Bún Ốc Hà Thành）

日本人の殆どは食べないと思いますが、ベトナムではタニシ料理は有名です。特にHANOIのタニシのスープは最高です。



ベトナムの首都HANOI。文化と政治の中心地です。

② 豚の小腸炒め揚げ（Lòng rán Hà Nội）

豚の小腸を軽く茹でて、異物や菌などを落とした後すぐに油と現地野菜と調味料で炒め上げる、宴会には最高のおつまみです。



③ エビ揚げパイ（Bánh Tôm Hà Nội）

エビとパイパウダーを混ぜ揚げ、揚げたてのパイを専用の漬け醤油に混ぜることで永遠飽かず忘れられない味覚となります。この食べ物はほとんどのレストランで食することができます。



④ Trang Tienアイスクリーム（Kem Tràng Tiền）

HANOIと言えば、Trang Tien（チャン ティエン）アイスクリームですね。食べないと損するぐらいです。HANOI中心部のHoan Kiem池の横にあるTrang Tien 通りの第1号店のアイスクリームは、アイスクリームの世界で格別な存在です。

番外編：ベトナム料理に欠かせない調味料「ヌックナム」

ヌックナムは魚と塩を発酵させて作った魚醤の一種です。魚醤と言えばタイのナンプラーですが、ヌックナムは少し違います。ヌックナムは魚のうま味がより強く感じられ、人によって好き嫌いが分かれるかもしれません。料理はもちろん、ご飯にかけて食べる人もいますなど、使い方は多種多様。日本でも手に入りますので、皆さま是非お試しください！



第29回 IPM作文コンクール 結果発表！！

～入国待機者の部を新設しました～

一般の部

【金賞】株式会社武蔵野	PHAM THI XUANさん	『日本から持ち帰りたいもの』
【銀賞】株式会社武蔵野	NGUYEN CONG TUYENさん	『日本のスーパーマーケット』
【銅賞】株式会社エヌチキン	HOANG THI HIENさん	『お金は最も重要ではありません』

入国待機者の部 ※優秀賞3名

HOANGHUNG (ベトナム)	TRUONG THI THUYさん	『ママのぎせい』
GAKUBUN (ミャンマー)	AUNG KO LATTさん	『私の夢』
EMICO (ベトナム)	PHAM DINH SANGさん	『いい友達』

29回目を迎えたIPM作文コンクールには、技能実習生や建設就労者、そして新型コロナウイルスの影響で日本に入国できずにいる待機者から多くの応募がありました。

技能実習生・建設就労者の皆さんからは35名の方に応募いただきました。金賞に入賞したXUANさんの作文は、日本のごみ処理文化に注目し、日々の就労からだけでなく何気ない日本での生活からも多くのことを学んでいる様子が伝わってくるものでした。内容は勿論、皆さんが実際に書いた日本語の文字や文章も素晴らしく、皆さんの日本語学習に対する熱意を感じることができました。

加えて、今回はIPM初の試みとして、技能実習生として入国予定であるものの新型コロナウイルスの影響で入国で

きない待機者の部を設けました。6か国（ベトナム・中国・ミャンマー・カンボジア・モンゴル・インドネシア）85名の入国待機者の皆さんに応募いただき、日本語学習期間が短いながら、皆さんの人柄や思いを感じられる作文ばかりでした。待機者の皆さんは、いつ入国できるか分からない状況に置かれており苦しい思いをしている方もいると思いますが、その中でもできることを前向きに取り組んでいるようでした。

これからも、皆さんには日本語学習を前向きに取り組んでいただくとともに、実習生・建設就労者の皆さんは限られた日本での時間が実りあるものになることを、待機者の皆さんは一刻も早く日本に入国できることを願っています。

「受賞作品一部紹介！」

PHAM THI XUANさん『日本から持ち帰りたいもの』

日本に来て驚いたのは、ごみ処理への意識と処理技術の高さ。日本ではごみ箱はあまりないが、景観はきれいに保たれている。さらに、ごみの種類によって収集する日が違うので、一度に出される量も少なく、収集も効率的。この意識と技術をベトナムに持ち帰り、景観と地球を守りたい。



<喜びの声>金賞を受賞したPHAM THI XUANさん

受賞できて、本当に嬉しかったです。IPMの先生達のおかげで、日本語作文がスムーズに出来ました。誠にありがとうございました。食品に関わる(株)武蔵野で実習しているので、ごみの分別の大切さを理解しています。実習生の皆様も（分別に）ご理解とご協力をお願いします。

NGUYEN CONG TUYENさん『日本のスーパーマーケット』

日本のスーパーを初めて訪れたとき、スタッフ全員がとても親切で、全ての客層に丁寧で礼儀正しく接していたことに驚いた。また、店内の看板や決済方法の多さ、様々な調理済みの食品が売られていることなど、日本人はあたりまえのように思っているかもしれないが、すごいことである。



銀賞を受賞した
NGUYEN CONG
TUYENさんも、
おめでとう
ございます！
→

株式会社北海道畜産公社 技能実習生の取り組みをご紹介します！

株式会社北海道畜産公社では、技能実習生の努力と企業のサポートが功を奏し、2021年7月に行われた日本語能力試験で2名がN3に合格しました。今回、日本語学習に対する取り組みについて、北見工場のN3合格者であるファム ヒュー フックさんとグエン バン クオンさんにインタビューを行いました。

①日本語を一生懸命勉強する理由を教えてください。

ー今現在日本に住んでいるので、日本語は大事だと思っています。日本人の周りの人と日本語で話したいです。日本語が分かれば、仕事も生活もうまいくと感じています。また、日本語の能力と日本での経験を持って帰国したら、仕事の選択肢がもっと広がるので、日本語を勉強しています。

②普段どのように勉強されていますか。

ー実習しながら毎日1～2時間勉強しています。インターネットと教科書を利用して、IPMの問題集も利用し訓練しています。覚えにくい漢字があれば付箋を使って壁に貼ります。また会話の能力の向上のため、日本人のスタッフによく話しかけるようにしています。

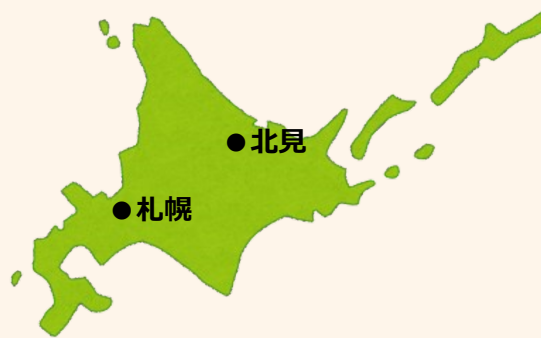
③企業からのサポートはありますか。

ー工場長様、指導員様、周りのスタッフが優しく応援してくれます。日本語能力試験の受験料や試験場所である札幌への移動費、ホテル代まで全部会社が払ってくれました。合格したときにはお祝いに会食も行っていただきました。

1日8時間ほどの実習を行いながら毎日勉強することは、中々できないことだと思います。また、企業との関係も良好で、今度皆さんで北海道の観光地に行く計画もしているそうです。日本語はもちろん、多くの貴重な経験をベトナムに持ち帰ってほしいと思います。



グエン バン クオンさん（左から1番目）とファム ヒュー フックさん（右から2番目）、北見工場の皆さん



北見は道東と言われる地域に位置し、札幌から車で4時間です。

担当職員から 札幌事務所より

はじめまして。札幌事務所の劉亜蕾（リュウ アライ）と申します。今年7月から入団しました、早くも3カ月間が経ち、業務を理解しつつ充実した日々を過ごしてきました。現在主な業務内容は、担当企業の中国人技能実習生の仕事や生活への指導とサポートです。日常においては事務所で関係資料の作成や手続き業務が多いですが、毎月定期的に企業を訪問することもあり、札幌から道東へ行き、実習実施企業の担当者と技能実習生と面談し、必要な指導を行います。

IPMへ入団する前に私がJETプログラムというプロジェクトに参加し、国際交流員として札幌市役所の国際部で中日国際交流の仕事をしていました。その時に実習生との接点は、ただ自分が役所で翻訳した生活情報や防災情報がよく実習生の手元に届いたことでした。

以前自分が携わった国際交流の仕事は、草の根からの交流

とはいえ、やはり中国や日本に興味を持っている人たち向けの内容が多くて、入団後実際に実習生と企業の担当者と接して、もっと第一線の現場にいる感じがして、多文化理解の重要性和必要性を実感しています。今まで監理団体の仕事経験がないですが、これから技能実習制度をもっと理解し、技能実習を通じて両国間の友好交流の種を撒いて、花が咲かせるよう微力を尽くしたいと思います。

編集後記

アジアの国々に関わりが深いこの仕事ですが、まだまだ知らないことが沢山あります。最近ワクチン接種率のニュースを見て、ベトナムの人口が約1億人もいることを知りました。面積も約33万平方キロメートルと、人口約1.2億人、面積約38万平方キロメートルの日本とかなり近いです。皆さんは知っていましたか？

●次回は2022年2月1日発行予定です